

第1学年1組 特別活動(学級活動) 学習構想案

日時 令和3年11月19日(金)第2校時

場所 1年1組教室

指導者 教諭 田浦 稚春

I 単元構想

単元名	じしんさいがいから みをまもろう		
単元の目標	<p>(1) 日常の生活や学習への対応と自己の成長及び健康安全といった、自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解するとともに、そのために必要な知識や行動の仕方を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 自己の生活上の課題に気付き、多様な意見を基に、自ら解決方法を意思決定することができるようにする。</p> <p>(3) 自己の生活をよりよくするために、他者と協働して自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしたりする態度を養う。</p>		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	①地震の被害について理解し、安全な避難行動をとるための知識や行動の仕方を身に付けている。	①自分の身を守るために、災害時における危険に気付き、協働で得た学びを基に、状況に応じた安全を確保する行動について考え、実践につなげようとしている。	①地震が起きたときの安全な避難行動の仕方を振り返り、実際に地震が起きたときにどうするのか、具体的に実践できるようにしようとしている。
単元終了時の児童の姿(単元のゴールの姿・期待される姿)			
地震が起きたときの安全な避難行動を理解し、身に付けている児童。			
単元を通した学習課題(単元の中心的な学習課題)		本単元で働かせる見方・考え方	
地震から身を守るためにはどうしたらいいか考えよう。		地震が起きたときの安全確保には、正しい知識が必要であることを理解し、状況に応じて判断し、安全に行動しようとする。	
指導計画と評価計画(1時間取扱い 本時1/1)			
日時	形態	学習活動 (「問い」を設定しても可)	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
11/11 行事	全校	<p>【地震火災避難訓練,振り返り】</p> <p>○地震や火災が発生した場合を想定し、実際に地震火災避難訓練を行う。</p> <p>○地震火災避難訓練の振り返りをする。</p>	<p>★【態度】(行動観察・ワークシート)</p> <p>○放送や教師の指示を聞いて、安全を確保するために行動している。</p> <p>○自分の命を守るために、安全に行動することができたのか振り返る。</p>
11/19 学活	学級	<p>【地震災害から身を守ろう】(本時)</p> <p>○地震が発生したときの安全な避難行動について考え、実践する。</p>	<p>★【思・判・表】(行動観察・ワークシート)</p> <p>○地震発生時における危険に気付き、地震から身を守るためにはどうしたらいいの考え、安全な避難行動について理解し、実践しようとしている。</p>
行事	全校	<p>【地震火災避難訓練,振り返り】</p> <p>○地震や火災が発生した場合を想定し、学んだことを活かして、実際に地震火災避難訓練を行う。</p> <p>○地震火災避難訓練の振り返りをする。</p>	<p>★【知・技】(行動観察・ワークシート)</p> <p>○放送を聞いて、自ら状況を判断し、安全な避難行動をとることができている。</p> <p>○学んだことを活かして、地震から身を守るための行動ができたのか振り返る。また、自分自身の課題を見つけ、次の避難訓練のめあてを立てている。</p>

2 単元における系統及び児童の実態

学習指導要領における該当箇所(内容, 指導事項等)				
<p>本単元は, 小学校指導要領の学級活動内容(2)ウ「心身ともに健康で安全な生活態度の形成」にあたる。 「現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや, 事件や事故, 災害等から身を守り安全に行動すること。」</p>				
教材・題材の価値				
<p>6月に行ったシェイクアウト避難訓練では, ほとんどの児童がしっかりと放送を聞くことができ, 体育の着替えの途中にもかかわらず, 児童自身で状況を判断して全員が机の下に隠れる行動をとっていた。しかし, その後に「なぜ机の下に隠れたのか」と問うと, その理由を理解している児童は少なかった。周りの様子を見てなんとなく机の下に隠れるのではなく, なぜ机の下に隠れる必要があるのか18名全員がきちんと理解しておかなければならない。また, 地震発生時における基本的な避難行動を学習していないと, 地震が起きたときに混乱し, 事故につながる事が予想される。そこで, 地震の被害について考え, 地震発生時の安全な避難行動について一人ひとりの児童が理解することで, 自分の命を自分で守ることができるようにする。</p>				
本単元における系統				
<p>1年 道徳科 「わたしのたからもの」 熊本地震の余震が続く状況下で, 家族の温かい気持ちを感じ取り, 大切に気付く。</p>	<p>1年 地震災害から身を守る</p>	<p>地震火災避難訓練</p>		
<p>1年 生活科 「がっこうにくるみち かえるみち」 行き帰りの通学路の様子に関心を持って かつともに, 自分たちの安全を守って くれている施設や人がいることに 気付く。</p>	<p>2年 津波被害から身を守る</p>	<p>1年 道徳科 「わきだした水」 命を助けようと努力する人の生き方 によさを感じ, 自分も自他の命を大切 にしていこうとする。</p>		
	<p>3年 風水害から身を守る 火山災害から身を守る 避難所生活で大切なこと</p>			
児童の実態(単元の目標につながる学びの実態)				
<p>■本単元を学習するにあたって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況(アンケート18名実施)</p>				
調査内容	とても	まあまあ	すこし	ぜんぜん
自分の思ったことははっきりといえる。	3	6	4	5
自分はいろいろないい考えが思い浮かぶ。	5	3	5	5
友だちの前で発表するのは得意である。	3	10	1	4
<p>■本単元の学習に関する意識の状況</p>				
調査内容	とても	まあまあ	すこし	ぜんぜん
地震の揺れを感じたことがありますか。	18			0
地震が起きたときはどうしていますか。	頭を隠す 5 布団に隠れる 2 外に逃げる 1	5	机に隠れる 5 机で頭を隠す 1 分からない 4	5
地震が起きたときのことを家族で話し合っていますか。	2	6	2	8
地震が起きたときの避難所がどこか知っていますか。	宮原小学校 2 防災公園 2 分からない 11	2	公民館 2 体育館 1	2
地震が起きたときのために何か準備していますか。	5	0	6	7
何を準備していますか。 (上記の回答で「とても」「すこし」と答えた児童のみ記入)	懐中電灯 1 寝袋 1 飲み物 1 お菓子 1 無記入 2	1	ランタン 1 ぬいぐるみ 1 みず 1 忘れた 1	1
熊本地震を知っていますか。	7			11
地震や写真の動画を見ると怖いと感じますか。	8	4	2	4
<p>■考察</p> <p>本学級の児童は, 明るく素直である。自分の知っていることや経験のあることは, 授業の中でたくさん発表している。しかし, 自分の考えや意見を発表するときには, 確信がもてないと周りの様子を見てどうするかためらってしまう。一人ひとりすてきな考えを持っていることを伝え続けたり, 少人数での話し合い活動をしたり, 段階を踏んでから全体共有をするようにしたりと工夫をして授業を行っているが, まだまだ自信を持って堂々と発表できる児童は少ない。</p>				

地震の揺れを全ての児童が体験したことがある。地震の揺れが起きたときの行動として、頭を隠すことと何かに隠れることと答えた児童が多い。なかには外に逃げると答えた児童もいる。このことから、身を守ることをしなければならないのは分かっているが、なんのためになぜそのような行動をとるのか理解しているとは言いがたい。また、防災について話し合っている家庭は半分以下であり、地震発生時の安全な避難行動が分からない児童が多いことから、地震に関する正しい知識と避難行動を学習することは重要であると考えられる。さらに、児童にとって熊本地震は当時2歳の頃の出来事であるため、記憶が薄い上に「地震=怖いもの」というイメージがある。そこで、授業の始まりと終わりに心のケアを実践する。授業の始めには、「災害について学ぶことは命を守るにつながって、地震が起きたときに落ち着いて行動することができるようになるよ」と伝え、安心して授業に参加できるようにする。授業の終わりには、「1時間よく頑張ったね」と児童の頑張りを褒める。

3 研究主題について

主体的に判断し、協働的に行動する児童の育成

～地域とともにある防災教育の実践を通して～

【仮説1】 災害に関する課題に対し、多面的・多角的な見方・考え方を働かせて協働的に解決する活動に取り組むことで、児童が主体的に判断・行動できる資質・能力を高めることができるであろう。

※授業研究の視点

- 視点1 多面的・多角的な見方・考え方を働かせる課題の設定
- 視点2 互いの考えの違いを認識させる手立て
- 視点3 対話によって得られた学びと自らの変容を記した振り返り

4 指導に当たった留意点

○視点1 「多面的・多角的な見方・考え方を働かせる課題の設定」

導入場面では、自分たちの避難訓練の様子の写真や地震時のイラスト、アンケート結果を見せ、地震発生時に自分がとった身を守る行動を振り返る。そして、自分たちが毎日使っている教室の中で危険なところはないか考えさせ、災害を身近なものとして捉えさせるようにする。

○視点2 「互いの考えの違いを認識させる手立て」

まずは、一人で教室の中の危険なところについて考える。^ひ

次に、自分が気付いた教室の中の危険なところとその理由をグループで伝え合っ、意見をタブレットに整理する。^か

さらに、グループのタブレットをスクリーン上に重ねて出すことで、多様な考えに気付かせる。

○視点3 「対話によって得られた学びと自らの変容を記した振り返り」

展開の場面で、教室の中の危険なところについてグループの友だちや学級全体で対話をしながら考えを伝え合ったことで、地震による被害についての理解が深まり、地震発生時の身の守り方を知る場面において、安全な避難行動をとる必要性をより実感することができる。そのため、地震から身を守るためにはどうしたらいいか振り返りを行うことができると考える。^わ

※人権が尊重される授業づくりの視点

「共感的人間関係を育成する支援を工夫する」

・これまでの生活経験や家庭環境及び住居の立地等から、意見や考えの違いが生ずることを理解し、お互いの考えを尊重しようとする態度を大切にさせる。

5 本時の学習

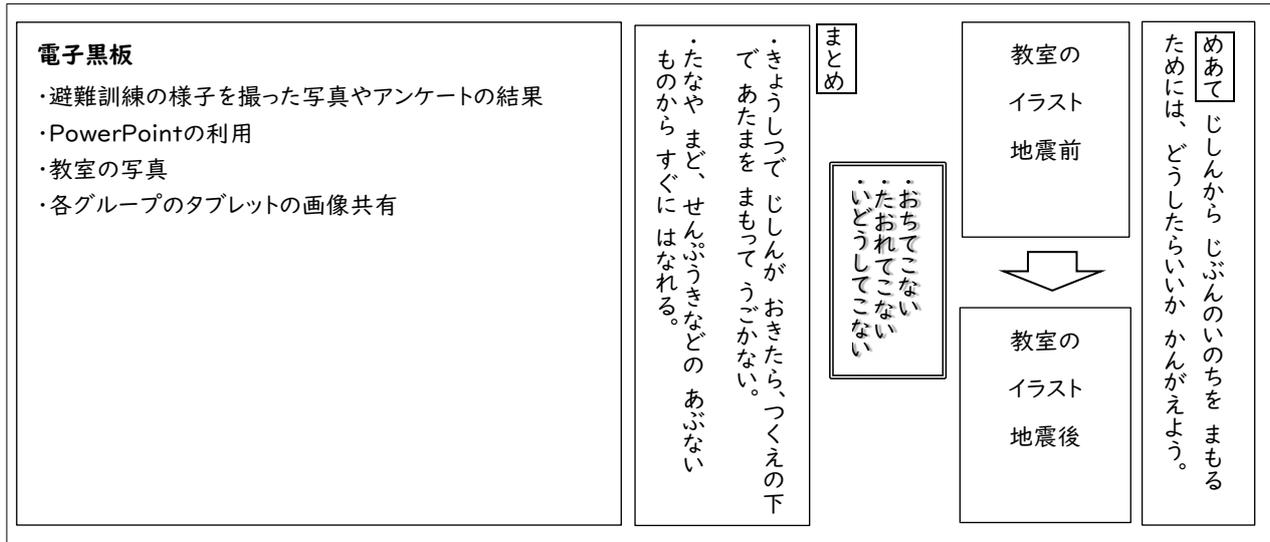
(1) 目標

地震発生時に学校内で予想される危険を考え、話し合うことを通して、自分の身を守るためにはどのような行動をとればよいかを理解し、安全な避難行動を身につけることができるようにする。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図, 内容, 方法等)
導入	5分	<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <p>①心のケアを行う。 ◇今から地震についての学習をするんだな。</p> <p>②先日行われた避難訓練について振り返ったり、アンケートの結果を見たりして、自分たちの課題について考える。 ◇「お・か・し・も」を守れていたかな。 ◇避難訓練の時は、頭を守ったよ。</p>	<p>○先日行われた避難訓練について振り返ったり、アンケートの結果を見せたりして、安全な避難行動を知らないままで、地震が起きた時に自分の身を守るができるのか問う。</p> <p>○地震発生時に考えられる危険を知ること、自分の命を守る行動ができることに気付かせる。</p>
		<p>【めあて】 きょうしつで じしんがおきたときに じぶんのいのちを まもるためには どうしたらいいか かんがえよう。</p>	
		<p>【学習課題】 地震から身を守るためにはどうしたらいいのだろうか。</p>	<p>○教室にいるときに地震が起きたという想定で、自分の命を守る行動がとれるようにするために、教室の中にある危険なものを確認する。</p>
展開	30分	<p>2 課題の解決に向けて活動する。</p> <p>①教室の写真の中の危険なところ(地震が起きたら変わるもの)を○で囲む。 ◇本棚が倒れてくるから危ないよ。 ◇天井の扇風機が落ちてきそうだな。 ◇ガラスが割れると思うな。</p> <p>②グループで自分の見つけた危険なところとその理由を話し、グループの意見をタブレットに整理する。 ◇わたしは、掃除箱が危ないと思いました。なぜかというと、ドアが開いてほきが出てくるからです。 ◇わたしは、電気が危ないと思いました。なぜかというと、上から落ちてきてケガをするかもしれないからです。</p> <p>③全体で教室の危険なところを共有する。 ◇自分と同じ考えがあるな。 ◇そこも危険だな。気付かなかった。</p> <p>..... 【期待される学びの姿】 教室の中の危険に気付き、友だちとの交流の中で自分の考えを深めているとともに、身の守り方について考えようとしている。..... ④地震発生時の身の守り方を知る。</p>	<p>○教室の写真を見て、地震が起きた時に危険だと思うところ(地震が起きたら変わるもの)を見つけさせる。 ○ただ危険だと思うところを見つけるのではなく、なぜそれが危険だと思ったのか理由まで考えさせる。</p> <p>○3人グループを作り、グループに1台タブレットを配付する。グループの中で、自分が見つけた教室の中の危険だと思うものを理由とともに発表する。全員の意見をタブレットの中の写真にスタンプを付けて整理する。</p> <p>○グループで自分が見つけた危険を伝え合い、グループの意見をまとめた画面を全体で共有することで、互いのちがいに気付き、考えを深めることができるようになる。</p>
		<p>【具体的評価規準】 思考力・判断力・表現力 ○地震発生時における危険に気付き、地震から身を守るためにはどうしたらいいの考え、安全な避難行動について理解し、実践しようとしている。(方法:ノート・発言)</p>	
			<p>【到達していない児童への手立て】 ○机間指導をする中で、落ちてくるもの・倒れてくるもの移動してくるものに注目させ、教室にある危険なものは何か自分で考えることができるようにする。</p>
終末	10分	<p>3 学習のまとめと振り返りを行う。</p> <p>①教室で地震が起きた時の身の守り方をまとめる。</p>	<p>○めあてをもう一度確認し、地震発生時に身を守る理由は、身の回りには危険がたくさんあるからだということを押えさせ、そのために自分の命を守る避難行動の重要性が理解できるように学習のまとめを行う。</p>
		<p>【まとめ】 きょうしつで じしんが おきたら、つくえの下で あたまを まもって うごかない。 たなや まど、せんぷうきなどの あぶないものから すぐにはなれる。</p>	
		<p>②今日の学習の感想を書き、振り返りをする。 ◇地震が起きたら、危ない所から離れるよ。 ◇揺れている間は動かないで頭を守るよ。</p> <p>③心のケアを行う。</p>	<p>○学習の気付きや振り返りを全体で共有する。</p>

【板書計画】



【ICT活用計画】

教師による教材提示の計画、ICTを活用した発表
<p>導入：避難訓練の様子を撮った写真やアンケートの結果, PowerPointの利用</p> <p>展開：教室の写真, 各グループのタブレットの画像共有, PowerPointの利用</p>